PART4 西洋近代市民社会の倫理

Chapter1　近代市民社会の倫理

目標
行為の動機を重視する理想主義的なドイツの思想家を調べよう。
行為の結果を重視する現実主義的なイギリス発の思想について知ろう。

1　ドイツ観念論〔理想主義〕

①［　　　　　　］

A　批判哲学→理性の範囲と限界を明らかにする

B　コペルニクス的転回

あ　「物自体は認識できない」→必ず感性と悟性の連携が必要

い　「認識は人間に認識能力があるから起きている」

C　理論理性と実践理性

実践理性を働かせ，自身を〔　　　　〕**法則**に従わせることができる存在が人格

※人間の尊厳の根拠は人格にある。他律でなく**善意志**に基づく**自律**により，**義務**を義務として行う（＝**義務論**）。

D　**動機説**→人間には自然法則〔**因果律**〕とは別に**意志の自由**がある

条件付きの**仮言命法**ではなく無条件の〔　　　　〕**命法**に従うべき

※「もし…なら，～せよ」ではなく「～せよ」。

E　究極の定言命法

「汝の意志の**格率**が，常に同時に普遍的な法則として妥当し得るように行為せよ」

F　**目的の王国**〔目的の国〕→理想主義

「汝の**人格**や他のあらゆる人の人格の内にある人間性を，いつも同時に**目的**として扱い，決して単に手段としてのみ扱わないように行為せよ」

G　**永久〔永遠〕平和のために**→理想主義（のちの国際連盟の設立理念に通じる）

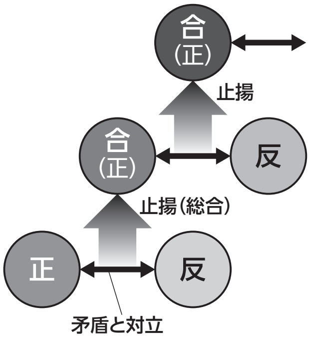
②［　　　　　　　　］→人間の自由は法律や制度の中で具体化されるとカントを批判

A　**絶対精神**→自由を本質とする理性的な精神で世界の最高原理

絶対精神が人間の活動を通して歴史上に現れたものが**世界精神**

※「世界史は自由の意識の進歩である」→世界の歴史＝世界精神の自由実現過程。

B　**弁証法**→古代ギリシアから存在するが理論化して大成
ある主張は必ず対立を含みそれらを総合するところに
真理の認識や発展がある
※**正**〔**テーゼ**〕と**反**〔**アンチテーゼ**〕を含み**止揚**〔**アウフヘーベン**〕すると**合**〔**ジンテーゼ**〕がある。



弁証法

C　**法**と**道徳**の総合としての〔　　　　　〕
D〔　　　　　〕＝真の自由が実現された共同体→理想主義
あ　**家族**　　　　　　　　→「素朴な人倫」状態
い　〔　　　　　　　　　〕→「欲望の体系」「人倫の喪失」状態
う　**国家**　　　　　　　　→「人倫の最高形態」

2　功利主義

①**アダム＝スミス**→自由放任主義〔レッセ＝フェール〕・小さな政府
A　イギリス古典派経済学の祖→『道徳感情論』『**国富論**〔諸国民の富〕』
B　（神の）「**見えざる手**」により需要と供給は自動調整
C　**感情**に道徳の根拠を求め，公平〔中立〕な観察者の**共感**が必要とする
②〔　　　　　　　　　〕→〔　　　〕**的功利主義「最大多数の最大幸福」**
A　**功利主義**→効用を重視（道徳的に重視すべきは行為の動機より**結果**＝**帰結主義**）
行動の善悪の基準を「その行為が**快楽**と**幸福**をもたらすか」に置く
B　**快楽計算**→前提としての普通選挙・平等選挙
個人の感じる快楽の量を合算して社会全体の幸福の総量が測定できる
C　４つの制裁（自然的・法律的・道徳的・宗教的）→外的制裁を重視
③〔　　　　　〕→〔　　　〕**的功利主義**
A　**感覚的快楽**より〔　　　　　〕**的快楽**を重視
B　内的制裁＝良心の働きを重視
C　**危害原則**〔他者危害の原則〕
行為の正・不正の基準を（他者に危害が及ばない限りで）「その行為が自分を含めた関係者に最大の幸福をもたらすかどうか」という点に求めた

まとめ
行為の動機を重視したのはドイツ観念論のカントである。
行為の結果を重視したのはイギリスの功利主義である。

Chapter2　社会主義思想とプラグマティズム

目標　資本主義とは対照的に，社会主義が求めたことについて理解しよう。
有用性・実用性・結果を重視するアメリカで生まれた思想について知ろう。

1　空想的社会主義

〔　　　　　　〕**（有産階級〔ブルジョワジー〕）**の良心や道徳に頼る形で産業革命後の〔　　　　　　〕**（無産階級〔プロレタリアート〕）**の環境改善を試みた初期の社会主義思想は，のちマルクスとエンゲルスから「空想的」と批判された。

※〔　　　　〕主義は資本主義とは違い貧富の差のない平等な社会をめざす思想で，16 世紀前半に『ユートピア』を著したイギリスのトマス = モアの考えが源流。

①フランスのサン = シモン
搾取のない純粋な「産業社会」を理想とした

②フランスのフーリエ
「ファランジュ〔ファランステール〕」という共同社会を構想

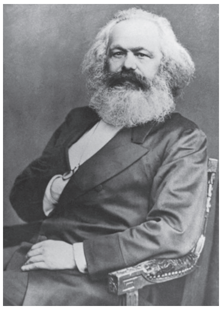
③イギリスの**ロバート = オーウェン**
アメリカに渡り「ニューハーモニー村」という共同体の建設を試みて失敗

2　科学的社会主義

生産手段の国有化と中央政府による集権的な計画経済の運営を特徴とする

※ロシアで〔　　　　　　　〕，中国で**毛沢東**が実践。

①ドイツの〔　　　　　　　〕と**エンゲルス**
『共産党宣言』『資本論』で「結果の平等」を求める共産主義思想を唱える


マルクス

②**労働の疎外**〔疎外された労働〕→人間疎外につながる
本来の労働は人間に喜びをもたらすが，「資本主義の下では労働力は資本家により取引の対象として商品化されている（＝労働者は搾取され労働は苦役と化している）」と訴えた。

③**唯物史観〔史的唯物論〕**→世界の変化の源は物質にあるという唯物論が土台

A　生産力・生産関係・生産様式

B　上部構造と下部構造→階級闘争の果てに**社会革命**

「全世界のプロレタリア，団結せよ！」

④**社会民主主義**→革命路線を否定する漸進的な社会主義思想

A　修正マルクス主義→ドイツのベルンシュタイン

B　フェビアン社会主義→イギリスのウェッブ夫妻やバーナード＝ショウ

3　プラグマティズム

イギリスの経験論・功利主義・進化論の伝統を受け継ぎ，そこにフロンティアスピリット〔開拓者精神〕を注入し〔　　　　　　　　〕で発達した実用的な考え。

※**プラグマティズム**〔実用主義〕では，行為の動機より結果を重視する。

①パースが創始→科学性を持たせる

A　ハーバード大学内に「形而上学クラブ」を結成

B　ある概念や信念は行為やその結果を通じて初めて意味を持つ

②ジェームズが確立→宗教性にまで広げる

A　**真理の有用性**→「真理であるから有用，有用であるから真理」

あ　客観的・具体的な近代科学は有用

い　主観的・抽象的な宗教は有用

B　**相対的真理**

真理は固定されたものではなく実際の行動・結果を通じて絶えず検証・修正される

③**デューイ**が大成→社会性を持たせる

A　道具主義→知性は社会を進歩させるための道具

B　創造的知性〔実験的知性〕→試行錯誤〔トライ＆エラー〕を繰り返す

C　「なすことによって学ぶ」能動的学習に基づく教育運動を実践

まとめ
社会主義思想は「機会の平等」ではなく「結果の平等」を求めた。
有用性・実用性・結果を重視するアメリカで生まれた思想はプラグマティズムである。

第 2 講　PART4　確認問題

1　実践理性を働かせ，自身を道徳法則に従わせることができる存在が人格であると説いた人物はだれか。

① ヘーゲル　② ベンサム
③ カント　④ ミル

2　カントが主張したものは何か。

① 快楽計算　② 定言命法
③ 絶対精神　④ 内的制裁

3　ヘーゲルの弁証法における最後の段階で対立するものを，より高次の次元で統合することを何というか。

① ジンテーゼ　② テーゼ
③ アンチテーゼ　④ アウフヘーベン

4　アダム = スミスが主張したものは何か。

① レッセ = フェール　② 危害原則
③ 目的の王国　④ コペルニクス的転回

5　「最大多数の最大幸福」と述べ，量的功利主義を主張した人物はだれか。

① ミル　② アダム = スミス
③ カント　④ ベンサム

6 無産階級とも呼ばれるのは何か。

① プロレタリアート　② ファランジュ
③ プラグマティズム　④ ブルジョワジー

7 搾取のない純粋な「産業社会」を理想とした空想的社会主義者はだれか。

① サン = シモン　② ロバート = オーウェン
③ フーリエ　④ ベルンシュタイン

8 マルクスとエンゲルスが唱えた考え方は何か。

① 空想的社会主義　② 実用主義
③ 科学的社会主義　④ フェビアン社会主義

9 マルクスとエンゲルスが主張したものは何か。

① 唯物史観　② ニューハーモニー村
③ 道具主義　④ 創造的知性

10 真理の有用性を主張し，プラグマティズムを確立させた人物はだれか。

① パース　② ジェームズ
③ フーリエ　④ デューイ

第 2 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：③　道徳法則とは，理性によって打ち立てられた，普遍的な道徳上の原則である。

①：ドイツ観念論哲学の大成者。
②：量的功利主義を主張した人物。
④：質的功利主義を主張した人物。

2 解答：②　定言命法とは，「もし…なら，～せよ」という条件付きの命令（仮言命法）ではなく「～せよ」という無条件の命令である。

①：ベンサムが主張した，快楽をある基準で数的に計算すること。
③：ヘーゲルが主張した，自由を本質とする理性的な精神で世界の最高原理。
④：ミルが主張した，良心の働きにあたるもの。

3 解答：④　ヘーゲルは，正〔テーゼ〕と反〔アンチテーゼ〕を含みそれらを止揚〔アウフヘーベン〕するところに合〔ジンテーゼ〕があると説いた。

①：「合」のこと。
②：「正」のこと。
③：「反」のこと。

4 解答：①　レッセ＝フェールは自由放任主義のこと。

②：ミルが主張した，自由を制限できるのは，その行為が他者に迷惑や危害を与える場合のみであるという原則のこと。
③：カントが主張した，人々が相互の人格を目的としあうような理想社会のこと。
④：カントの発想の転換のこと。

5 解答：④　ベンサムは，個人の感じる快楽の量を合算して社会全体の幸福の総量が測定できるとした。

①：感覚的快楽よりも精神的快楽を重視し，質的功利主義を主張した人物。
②：（神の）「見えざる手」により需要と供給は自動調整が可能であるとして，自由放任主義〔レッセ＝フェール〕を唱えた人物。
③：コペルニクス的転回，理論理性と実践理性，動機説などを主張した人物。

6 解答：①　資本家に対比する形での労働者にあたる。

②：フーリエが構想した共同社会のこと。
③：アメリカで発達した実用的な考えのこと。
④：資本家である有産階級のこと。

7 解答：①　サン = シモンは，資本家・商人・労働者などの「産業人」の共同による理想社会を説いた。

②：「ニューハーモニー村」という共同体の建設を試みて失敗した空想的社会主義者。
③：「ファランジュ〔ファランステール〕」という共同社会を構想した空想的社会主義者。
④：社会民主主義者のうち，修正マルクス主義を唱えた人物。

8 解答：③　科学的社会主義は，生産手段の国有化と中央政府による集権的な計画経済の運営を特徴とする。

①：サン = シモンやフーリエらの思想。
②：パースやジェームズらが主張した。
④：ウェッブ夫妻やバーナード = ショウが主張した。

9 解答：①　唯物史観〔史的唯物論〕は，世界の変化の源は物質にあるという唯物論が土台になっている。

②：空想的社会主義者のロバート = オーウェンが主張した。
③：プラグマティズムを大成したデューイが主張した。
④：プラグマティズムを大成したデューイが主張した。

10 解答：②　ジェームズは，有用性こそ真理の基準であるとした。

①：プラグマティズムを創始した人物。
③：空想的社会主義者。
④：道具主義を主張し，プラグマティズムを大成させた人物。